

UT-CA報告会

総論

情報基盤センター
PKIプロジェクト



PKIプロジェクト

- PKIの配備に関する運用回りのさまざまなことに関する調査研究
 - PKIが正しく運用されるか
 - PKIが合理的なコストで運用できるか
 - PKIのご利益は投資に見合うものか
 - 解決を待つ研究的課題には何があるか
- 境界条件
 - 学生証、職員証のICカード化
 - スピードが遅れるときっと致命的

方針

- 管理エンティティを自前で運用する
 - インソースでの運用に係わるさまざまなことを解決する
 - ソフトウェアで解決できることと、人的な要素がからんでくることを峻別する
 - 運用に当たってのコストを評価する
 - →UT-CAを構築して運用実験を行う

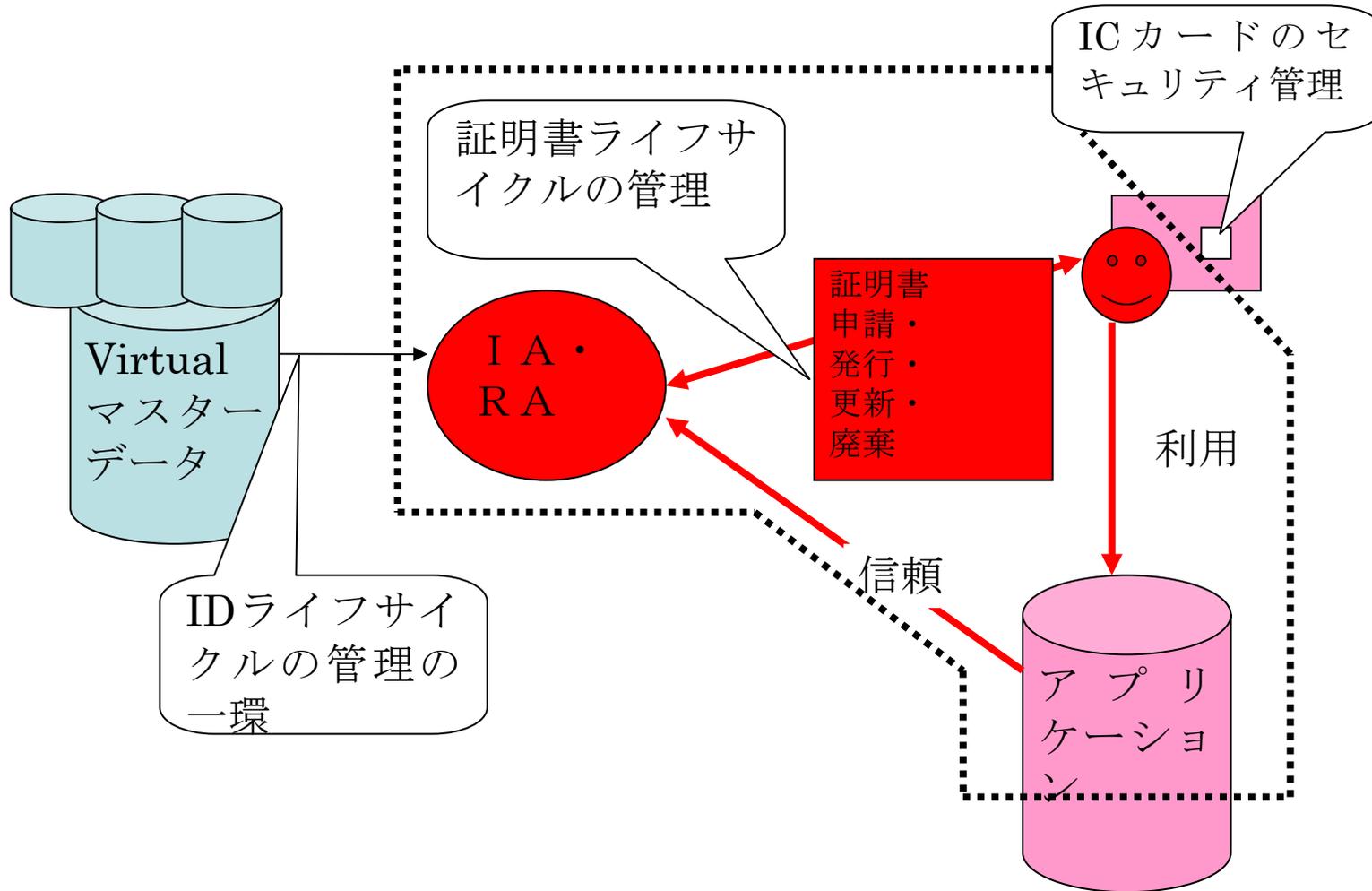
方針

- アプリケーションに気を配る
 - 事務業務のワークフローに良い影響を及ぼすことができるか
 - S/MIME
 - 高いセキュリティを要求するアプリケーションとしてはなにがあるか
 - Web認証、暗号化
 - 同時に利便性を追求できるアプリケーションには何があるか (PKIに関係しなくてもかまわない)
 - SSO、SSL-VPN

方針

- 新しい方向を常に向く
 - 必要なものは自分で作る
 - Simple SSO on SSL-VPN
 - ベンダの製品開発力に期待する(要求を正しくあげるのが大切)
 - Thin Client認証と事務端末への採用
 - 周囲との連携に気を配る
 - 証明書検証、パス構築と相互信頼モデル
 - UPKI

実験の範囲



これまでの一連の経緯

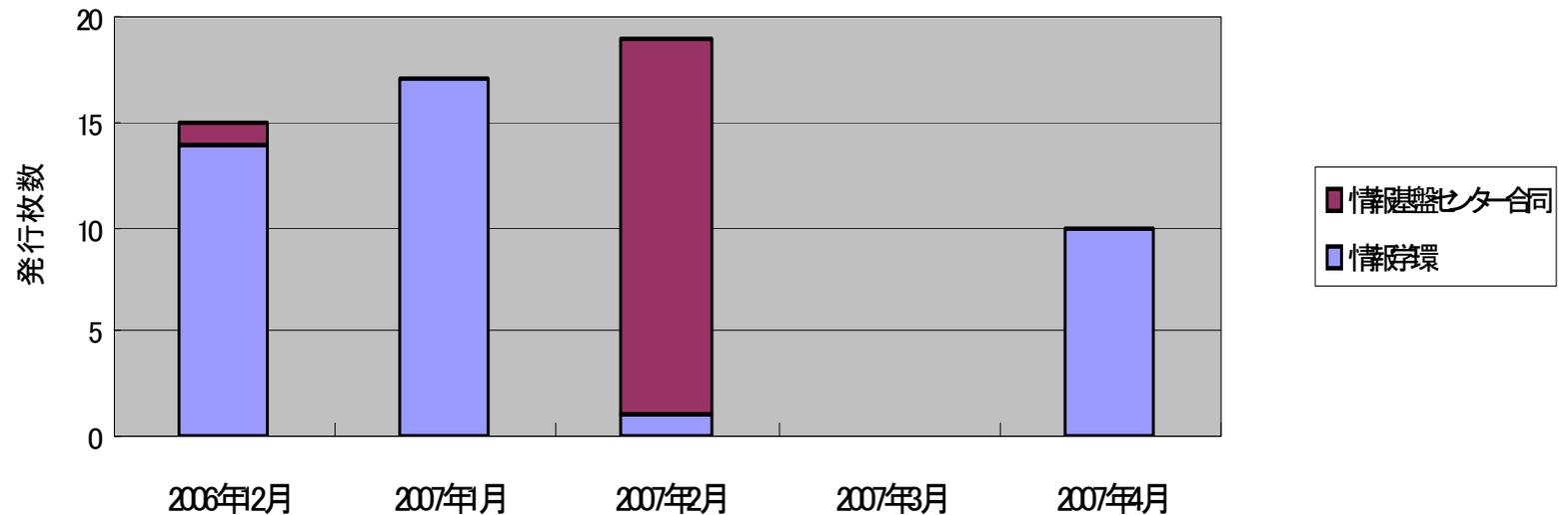
- 2006/07 UT-CAデモ
- 2006/11 情報学環との共同実験開始
 - S/MIMEや暗号化など、PKIの包括的な採用を目指した学環の実験
- 2006/12 情報基盤センター・本部RA設置
- 2007/01 Fingerprint学内広報掲載
- 2007/03 実験の一年延長決定

運用実績

	発行枚数	利用者取得枚数
情報学環RA	42	28
情報基盤センター合同RA	19	12

合計	61	40

月ごとの発行枚数



Time Table

- http://www.pki.itc.u-tokyo.ac.jp/ut-ca_report/index.html